

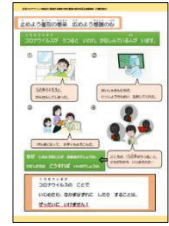
活用されています！！

東京都教職員研修センター
人権教育資料センター通信（令和2年7月特別号）

新型コロナウイルス感染症に関連する偏見や差別意識の解消を図る指導資料

と 「止めよう差別の感染 広めよう感謝の心」

6月に研修センターで作成した「止めよう差別の感染 広めよう感謝の心」は、様々な学校で御活用いただいております。（各学校のWeb ページより）



狛江市立狛江第三小学校「医療従事者へ絵手紙を」

6月の学校再開後、全学級において新型コロナウイルス感染症拡大防止に関連した医療従事者等に対する偏見や差別が生じないように、授業で取り上げました。6年生の児童が医療従事者等に感謝の思いを伝えたいと絵手紙を作成しました。

絵手紙を本日、市長に届け、一定期間市役所内に展示することにより、児童と医療従事者という関係だけでなく、医療従事者の活躍を広く市民の方にも知っていただける機会としたいと考えています。展示終了後に、医療従事者へ届ける予定です。（令和2年6月26日「絵手紙贈呈式」）



豊島区立西巢鴨中学校 「最前線で社会を支えるあなたへ」

「最前線で社会を支えるあなたへ」という主題で、一人一人の生徒が感謝のメッセージを書きました。ある生徒は医療従事者へ、ある生徒はスーパーで働く人たちへ、ある生徒は宅配便を届けてくれる方々へ、そして、毎日買い物に行ってお飯を作ってくれるお家の人へ。

「止めよう差別の感染、広めよう感謝の心」をあらためて考える学習を行いました。（令和2年6月17日「感謝のメッセージ」）



都立羽村高等学校

Web ページに掲載

登校初日、リモート集会での校長講話で、「コロナウイルスから自分の身を守ることに加え、差別の拡大を防ぐことも大切」であることを伝える。その後、生徒向けに「差別の感染防止について」というテーマで資料をWeb ページに掲載。新型コロナウイルスに関わることや学習等の不安や悩みは、生徒や保護者を対象に個別相談や面談を実施。

足立区立東綾瀬中学校 等

「学校便り」に掲載

ウイルスへの不安から、悪口やいじめが起きていること、感染者や医療従事者の方々も頑張っていることに触れ、「歯を食いしばって頑張っている人に敬意をはらい、悪口やいじめは絶対にやめましょう。そして、頑張っている人を応援しながら、皆と一緒に、この困難な事態を乗り越えていきましょう。」と伝え、資料を掲載。

本資料には、英語版と中国語版もあります。日本語指導が必要な児童・生徒への指導や保護者への啓発等で御活用ください。詳細は、人権教育資料センターWeb ページを御覧ください。

ストーリーで考える 「いじめや偏見、差別」

ウェブサイト「考えよう！いじめ・SNS@Tokyo」（東京都教育委員会）に、「新型コロナウイルス感染症に関連するいじめや偏見、差別によって苦しむ男子生徒の話」が追加されました。

新型コロナウイルス感染症に関連するいじめや偏見、差別がなぜ起きるのか。

私たちは、どうすればいいのか。

子供たちが自らを見つめ直すきっかけとして、漫画形式の教材「まるでウイルスみたいに…」を活用してください。

Web ページ <https://ijime.metro.tokyo.lg.jp/a5/index.html>

